

令和3年度 新技術を活用した点検効率化(橋梁)

溝橋点検においては、

- 一巡目点検により実態把握が完了。健全度の高い施設における新技術活用の有用性が高いことを確認
- 令和3年度の溝橋点検では8/430橋でBLUE・DOCTOR活用(1.8%)
- 点検費用の縮減は約11万円/施設(今年度は約88万円の削減)さらなる利用促進を検討中


従来点検 人力による直接打音



○頂版部では梯子を利用して打音検査を実施
内空高がある場合はリフト車を利用



点検支援技術の活用 コンクリート構造物変状部検知システム「BLUE・DOCTOR」



システム概念図

検査結果

データ受信・解析

位置検出

位置情報

被検箇所

カメラ

○地上作業が可能であり、作業性・安全性が向上。
○カメラ画像とリンクしスケッチ作業・調書整理を簡略化(試行)。

項目	従来技術	点検支援技術	主な課題
比較対象	人力打音	ブルードクター	・点検支援技術は機材賃料のみ。(約3万円/日) ・長期リースや機器購入でさらなるコスト圧縮も可能。
合計金額	約28万円/橋	約17万円/基	・従来技術:人件費11万円/基×諸経費2.5倍、機器費ナシ ・新技術:人件費5万円/基×諸経費2.5倍、機器費3万円
工程	4時間+8時間	3時間+2時間	・仮設足場の移動やスケッチ作業の簡略化、内業作業量減少により作業時間の短縮が可能

道路橋における点検支援技術の活用

①点検支援技術の活用

- 近接目視によるときと同等の診断・判定ができると判断した点検支援技術を選定
- 平成30年度から点検支援技術を活用



②点検支援技術の活用支援

- 活用した点検支援技術を北陸技術事務所ホームページで公開
- 技術概要をYouTube動画でわかりやすく公開し、現場での活用を支援

<https://www.youtube.com/user/HOKUGImilit>

▶橋梁点検の新しい取り組み



「橋梁点検の新しい取り組み」8本の動画を公開中

